

令和3年度 北海道シニアサッカー連盟 第1回常任理事会 議事録

1. 日 時：令和3年5月29日（土）15:00～17:00

2. 場 所：カナモトホール（札幌市民ホール）（札幌市中央区北1条西1丁目）

3. 出席状況（下線はWeb出席者）

(1) 出席者 20名

工藤・三浦副会長、佐藤英理事長、伊東・二川・小坂副理事長、佐藤晃・眞木・吉田常任理事
西川会長、松本副会長、小田中・小笠原・小林・松本真・松本健・亀山・飯田常任理事
神谷・紺野理事オブザーバー参加

(2) 欠席 1名

水落常任理事

4. 会長挨拶（要旨） 西川会長より

- ・先月の総会には参加できずすみません。
- ・緊急事態宣言も延長され、十勝もおそらく6月20日まではグラウンド使えない状況が続くと思われ、他の地域も同様と思われる。
- ・この後全道が始まるので、準備をしていかなければならないので、皆さんよろしくお願いします。

5. 議題

5.1 報告事項

5.1.1 R2 年度理事総会議事録（令和3年4月17日実施） 佐藤英理事長
・資料のとおり。

5.1.2 R3 年度 JFA シニア種登録及びシニアサッカー連盟登録状況 佐藤英理事長
・シニア種登録チーム数は111、登録人数は2374名で去年より増加、連盟加盟登録チーム数は112で去年より増加。まだ登録されていないチームもあるので、さらに増加予定。

5.1.3 事業報告

(1)～(4) 佐藤英理事長
・全道シニア8人制サッカー大会（東雁来公園）、シニア8ツアー（中標津）はいずれもコロナで中止。
・全国70・60（秋田県にかほ市）、全国50（栃木県宇都宮市）はいずれもコロナで9月以降に延期。

(5) 各地区リーグの状況

- ・道東地区：緊急事態宣言により会場が使えず6/13のリーグ戦の開催も厳しい状況（松本真常任理事）。
- ・道北地区：公的施設がすべて閉鎖。6/20以降で日程を組み直しているところ（松本健常任理事）。
- ・道南地区：5月の2節分は延期で予備にグラウンドを確保していたが、緊急事態宣言延長によりそれも厳しくなってきた。函館は夜8時までの施設利用制限、苫小牧は他地区との交流禁止（小笠原常任理事）。室蘭は公的施設が閉鎖、活動が止まっている（紺野理事）。
- ・道央地区：5月2節分延期、6月2節分も延期予定。振替できないときは組み直しも検討（小坂副理事長）。

5.2 協議事項

5.2.1 R3 年度事業計画 佐藤英理事長

- ・2021 年度北海道シニアサッカー連盟事業計画（資料 P11）の取消線は中止。
- ・全道 40・50・60・70 は全国に直結する大会なので実施したいと思っている。
- ・5/31 に道協会でコロナ対策会議を行う予定。全国につながる大会は状況を見ながらやれるのであればやるというのが今までのスタンス。シニアだけに特に何かという話はない（神谷理事）。

5.2.2 ジニアサッカー事業開催要項 二川副理事長

(1) 開催要項一覧

- ・全道シニアフットサル OP 大会開催要項のベンチ入人数については、小林常任理事が札幌フットサル連盟を介して道フットサル連盟に確認する。

(2) 全道シニア 40 大会

- ・開催要綱案（資料 P13）の主管、空知地区サッカー協会と夕張サッカー協会を削除し、北海道シニアサッカー連盟を加える。
- ・ユニフォーム規定の緩和は行わない。インナーも緩和しない。

(3) 全道シニア 70 大会

- ・開催要綱案（資料 P15）の主管、空知地区サッカー協会と夕張サッカー協会を削除し、北海道シニアサッカー連盟を加える。
- ・参加チーム数は制限なしだが、現時点では 6 チームの予定である。
- ・ユニフォーム規定は緩和して行う。

(4) 全道シニア 60 大会

- ・開催要綱案（資料 P18）のその他の(18)に本大会の優勝・準優勝チームを北海道代表とするとあるが、まだ JFA のシニア部会で正式決定されたものではないので、正式決定が出たら変更になる場合もある。
- ・ユニフォーム規定の緩和は行わない。インナーも緩和しない。

(5) 全道シニア 50 大会

- ・開催要綱案（資料 P20）のその他の(10)に本大会の優勝チームを北海道代表とするとあるが、まだ JFA のシニア部会で正式決定されたものではないので、正式決定が出たら変更になる場合もある。
- ・ユニフォーム規定の緩和は行わない。インナーも緩和しない。

(6) 北海道シニアオープン大会

- ・昨年はコロナの影響で 40・50 部門のみの変則開催だったが、今年は計画どおり夕張 4 面・栗山 2 面で実施したい。
- ・ユニフォーム規定は緩和して行う。

(7) 全道大会のカテゴリー別出場チーム

- ・資料 P23 の 40 の道南地区に「どちらを第 1 代表？」とあるが、両チーム優勝で両チーム第 1 代表とするということで確定している。
- ・資料 P24 の 60 道央地区の第 9 代表に「2021 年 6 月 5 日決定」とあるが、コロナの影響で 7/4 に延期。
- ・資料 P24 の 60 道南地区の第 4 代表に「伊達登別四十雀サッカークラブ 60」とあるが、もう 1 チームとどちらになるかこれから決めてもらう予定になっている。
- ・その他、特に異論はない。

5.2.3 全道シニア 70・40 大会運営方針 三浦副会長

- ・緊急事態宣言延長によりおそらくは 6/20 まではグラウンドは使えない状況になっているが、解除された後については、ラインの設置はピッチの状況によりサンクに依頼か連盟自主かで流動的。
- ・ピッチについては、多目的と第 1 が 40 大会メイン、陸上競技場がアップ会場、第 2 が 70 大会という配置。3 日目は多目的と第 1 を 40 と 70 を交互に配置する。
- ・70 の審判については、女子の審判員という話もあったが、連盟で対応する予定。
- ・運営スタッフは、道央チームの 40 大会に参加しないチームから出してもらう。3 日間で 2 人ずつ出してもらう。A グループは初日と 2 日目、B グループは 2 日目と 3 日目という形で出してもらう。シニア連盟の役員として 12 名くらいで回るのではないかと考えている。
- ・40 と 70 のスタッフを分けることにより経理の明確化も図れる。
- ・70 については、3 チームを 2 ブロックに分け初日 2 試合やり、上位 2 チームが翌日の準決勝に上がり、3 位のチームが交流戦という形をとることにより、各チーム最低 3 試合を確保するという形式をとる。
- ・開会式・閉会式・監督会議等は、コロナ感染状況を踏まえ開催しないことも視野に入れて検討する（西川会長・佐藤英理事長・二川副理事長）。
- ・去年の全国大会では代表者会議は実施していない。ユニフォームの選択も運営側が決定して各チームに連絡しており、スムーズに進んだ（眞木常任理事）。
- ・理学療法士の派遣については、オリンピックと重なっている関係で派遣できない可能性もあるが、確認しておく（神谷理事）。

5.2.4 2021 年度以降の全道シニア大会/主管予定について 二川副理事長

- ・2022 年度のシニア 40 は苫小牧に、シニア 50 は士別に、シニア 60 は釧路に打診予定。シニア 70 は、オリンピックも終わっているなので、札幌の平日開催を考えている。
- ・北海道シニアサッカー大会は例年通り空知で、北海道シニア 8 は去年中止だったのでそのままスライドして根室で、全道シニア 8 は例年通り札幌東雁来で、全道シニアフットサルは去年中止になったのでそのままスライドして北空知でそれぞれ実施予定。

5.3 その他

女子委員会（エイトリーグ）への協力 伊東副理事長

- ・5/29 は中止、6/20 と 7/17 は屋内なのでフットサル基準によるため、実施は厳しいとの見通し（まだ正式な連絡はない）。

シニア連盟 20 周年記念事業

- ・動いていないが、PT はコロナが落ち着いたら実施する予定（松本副会長・小田中常任理事）。
- ・R3.11/13 に京王プラザホテルで正式予約した（工藤副会長）。
- ・20 周年記念誌に載せるチーム紹介は 5/31 を目途にということで各チームにお願いしている。併せて HP に掲載を希望するかも確認している（佐藤英理事長）。

連盟ピステ 伊東副理事長

- ・連盟ピステが入荷したので、理事会出席者に配布した。理事会に現地参加できなかった道央地区役員にはリーグ戦時に配布、それ以外の役員については順次自宅に郵送する。
- ・代金については、本日会場にいる人からは徴収したが、会場にいない人については、北海道シニアオープン大会くらいを目途に徴収したいと思っている。伊東事務局長に会った時に直接現金で支払うか、振込みでの対応を考えているが、後日伊東事務局長よりメールで案内する。

次回理事会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・佐藤英理事長

・次回常任理事会は、令和3年11月13日(土)にシニア連盟20周年記念事業と抱き合わせでの開催を予定している。

以上。